

リハビリ従事者研修会受講者概要

1 回答状況

地域	舞鶴		綾部		福知山		合計	
	受講者数	アンケート回収数	受講者数	アンケート回収数	受講者数	アンケート回収数	受講者数	アンケート回収数
実受講者数	29	26	27	28	33	26	89	80
延受講者数	67		62		63		192	
1回	23	23	24	23	20	19	67	65
2回	21	14	20	20	22	20	63	54
3回	23	19	18	18	21	21	62	58

2 受講者の概況

(1) 参加者の所属及び職種

施設	職種				合計	ケアマネジャー(再掲)
	看護職	介護職	その他	未記入		
介護保険施設	17	17	0	3	37	1
介護保険居宅	15	11	3	2	31	12
医療施設	3	0	0	0	3	0
その他	1	0	4	0	5	0
未記入	3	1	0	0	4	0
全受講者	39	29	7	5	80	13

看護職が受講者中約半数。
舞鶴と福知山管内での研修会は特に看護職が多かった。

<舞鶴>

施設	職種				合計	ケアマネジャー(再掲)
	看護職	介護職	その他	未記入		
介護保険施設	7	4		3	14	
介護保険居宅	4	5		1	10	1
医療施設	1				1	
その他					0	
未記入	1	0			1	
全受講者	13	9	0	4	26	1

<綾部>

施設	職種				合計	ケアマネジャー(再掲)
	看護職	介護職	その他	未記入		
介護保険施設	2	10			12	
介護保険居宅	5	4	2	1	12	4
医療施設	2				2	
その他			2		2	
未記入					0	
全受講者	9	14	4	1	28	4

<福知山>

施設	職種				合計	ケアマネジャー(再掲)
	看護職	介護職	その他	未記入		
介護保険施設	8	3			11	1
介護保険居宅	6	2	1		9	7
医療施設					0	
その他	1		2		3	
未記入	2	1			3	
全受講者	17	6	3	0	26	8

(2) 経験年数

1年未満	8
1～3年未満	13
3～5年未満	20
5年以上	39
全受講者	80

(3) リハビリ従事者研修会受講経験の有無

有り	23
無し	56
未記入	1
全受講者	80

経験年数	職種				合計
	看護職	介護職	その他	未記入	
1年未満	5	2	1		8
1～3年未満	7	4	2		13
3～5年未満	7	9	2	2	20
5年以上	20	14	2	3	39
全受講者	39	29	7	5	80

3 受講動機(複数回答可)

動機	看護職		介護職		その他	未記入	合計		ジャー(再掲)
基本的な技術の習得	27	69.2%	18	62.1%	3	2	50	62.5%	6
連携のあり方の知識習得	5	12.8%	3	10.3%	1	0	9	11.3%	2
悩んでいる事例があり、解決の糸口を得るため	6	15.4%	2	6.9%	0	0	8	10.0%	2
得た知識の職場への還元	31	79.5%	17	58.6%	2	3	53	66.3%	6
全受講者数	39		29		7	5	80		8

4 業務の中でリハビリ対応に困難を感じていること

有無	看護職		介護職		その他	未記入	合計		ケアマネジャー(再掲)
ある	22	56.4%	10	34.5%	3	2	37	46.3%	7
なし	14	35.9%	18	62.1%	0	2	34	42.5%	1
未記入	3	7.7%	1	3.4%	0	0	4	5.0%	0

リハビリ対応に困難を感じている内容の詳細は別紙参照。看護職やケアマネジャーでは、困難を感じてると応えている者がある。

5 中丹地域リハビリテーション支援センターの利用について

(1)職種別利用状況

利用状況	看護職		介護職		その他	未記入	合計		ジャー(再掲)
直接利用したことがある	2	5.1%				2	4	5.0%	2
関係機関を通じて相談		0.0%	1			0	1	1.3%	0
これから利用したい	9	23.1%	9	31.0%	1	1	20	25.0%	3
相談したことはない	25	64.1%	19	65.5%	2	3	49	61.3%	3
全受講者数	39	100.0%	29	100.0%	7	5	80	100.0%	8

(2)施設別利用状況

利用状況	介護保険施設		介護保険居宅		医療	その他	未記入	合計	
直接利用したことがある	1		2	6.5%		1		4	5.0%
関係機関を通じて相談	1							1	1.3%
これから利用したい	10	27.0%	9	29.0%			1	20	25.0%
相談したことはない	22	59.5%	19	61.3%	3	2	3	49	61.3%
全受講者数	37	100.0%	31	100.0%	3	5	4	80	100.0%

かなりの施設が、介護支援センターを利用しているにも関わらず、今まで利用したことが無いと応えているのが、半数以上。訪問相談などでの施設内での周知や、その活用など見直す必要がある。

9 地域リハビリ支援センターに期待する役割

(1)職種別利用状況

期待する役割	看護職		介護職		その他	未記入	合計		ジャー(再掲)
看護・介護スタッフへの研修機能	26	66.7%	15	51.7%	4	4	49	61.3%	7
施設へのコンサルテーション	15	38.5%	9	31.0%	1	2	27	33.8%	0
情報収集と還元	8	20.5%	6	20.7%	2	2	18	22.5%	2
リハビリ専門スタッフへの研修機能	4	10.3%	5	17.2%		1	12	15.0%	0
全受講者数	39	100.0%	29	100.0%	7	5	80	100.0%	4

(2)施設別利用状況

期待する役割	介護保険施設		介護保険居宅		その他	医療	未記入	合計	
看護・介護スタッフへの研修機能	20	54.1%	22	71.0%	2	3	2	49	61.3%
施設へのコンサルテーション	16	43.2%	5	16.1%	2	2	2	27	33.8%
情報収集と還元	9	24.3%	5	16.1%	2	1	1	18	22.5%
リハビリ専門スタッフへの研修機能	5	13.5%	4	12.9%	2	1	0	12	15.0%
全受講者数	37	100.0%	31	100.0%	5	3	4	80	100.0%

職種別の支援センターの期待度には大きな差が無いが、施設の種別に見てみると、介護保険の施設サービス系では、施設へのコンサルテーションに対する期待が高い。

自由記載

- 4 受講動機
 ・住宅改修や福祉用具の知識を得るため。
- 5 研修内容の感想
 ・ポジショニングの物品不足、講師間の打ち合わせ不備を感じる
 ・デイサービス施設勤務なので、浴室に関しては参考になりました

7ー リハで困難を感じる事	対応の仕方
リハビリの意欲の無い対象者への対応	病院との連携
進行性疾患を有する症例への精神的フォロー	解決策が無く悩んでいる。出来れば医師と連携を取りたい。
リハビリが在職している施設で行われていない。(介護保険施設看護師)	解決策が無く悩んでいる。
嚥下訓練・障害のレベルの判断と適応の判断	解決策が無く悩んでいる。
利用者の希望に対応できない。	訪問リハや通所リハとの連携 適当な解決策がない。
機能低下へ失望して意欲が減退した患者への対応。	解決策が無く悩んでいる。
リハをする時間が確保できない。(居宅看護)	解決策が無く悩んでいる。
拘縮のひどい患者の入浴	解決策が無く悩んでいる。
痛みのひどい患者へのケア	解決策が無く悩んでいる。
リハメニューの作成と継続・評価出来るスタッフの不足	リハ支援センターとの連携
リハ技術に対する不安(居宅看護)	訪問リハ施設、主治医との連携
施設でリハがまだ出来ていない。(介護施設)	
転倒予防体操を今後取り組みたい	
1人で対応する事が多く、十分な対応が出来ない。	
リハへの基礎知識がわからない。	
リハ専門職員のいない職場での実践。	解決策が無く悩んでいる。
リハビリスタッフが1名なため、休みと取ると看護職が行わねばならない。(舞鶴)	施設内の職種間の連携で解決している。
リハの必要性は解っていてもそれに従事する人員と時間が無い	関係機関(協力病院)と連携して解決している
拘縮者の可動域が分からない	解決策が無く悩んでいる。
知識・技術がない為、どう対応したらよいか分からない	自分の施設内の職種間の連携で解決している
PTがおられない為どのようなリハビリを行っていいのか分からない	解決策が無く悩んでいる。
専門的な事を相談する所がない	解決策が無く悩んでいる。
リハビリを希望される利用者はあっても的確にニーズに応えられていない気がする きちんとした指示がほしい	解決策が無く悩んでいる。
大腿骨頸部骨折	その他
脊髄(?)パーキンソン病の在宅生活 ADL・QOLの向上について	自分の施設内の職種間の連携で解決している 関係機関(関係病院のPT)と連携して解決している
パーキンソンや脳血管障害等の方に生活リハをどのようにすすめたらよいか	自分の施設内の職種間の連携で解決している

10 研修への希望

- ・内容が難しかった。
- ・実技をもう少し詳しく知りたい。
- ・四肢麻痺のある高齢者のリハビリ
- ・嚥下障害のリハ。
- ・認知症のあるケースへの対応。
- ・精神的アプローチ
- ・パワーリハ
- ・転倒予防体操
- ・様々な職種が集まっているので、意見交換が出来ればと思う。
- ・拘縮防止運動の行い方
- ・レクリエーション

連携推進事業への意見・感想

- ・病院だけでなく施設の方にも研修に入ったり、情報を与えて欲しい。
- ・今後支援センターを活用したいと思うが在宅の場にリハビリ専門職の増員を望む